



「我々は何故お米を作るのか？」

お米は日本人の礎だからです BY 「見沼の里」



今回の米騒動について考えてみると

- ▶ スーパーから米が無くなったぞ！
- ▶ 大変だ！⇒どうして？？「令和4/5年の需要実績**681万トン**」
- ▶ 在庫がない？？⇒政府の備蓄は約91万トン（約1.5ヵ月分）
- ▶ 日本の米（食用）の年間生産量は**661万トン**（2023年）⇒足りてるじゃん
- ▶ では、何故？？因みに、民間のお米の在庫は年平均約200万トン
- ▶ つまり、約860万トン = **生産 + 民間在庫量 > 681万トン**（農水省需要予測）
- ▶ **（日本の米の需要、年間消費/人 = 55キロ x 約1.25億人 = 年間約681万トン）**
だが、実際の需要は**702万トン（59万トン/月）**だった！（需要予測 + 21万トン）
民間の在庫量は6月末で156万トン、ムム、だからスーパーに米がない

新米に救われるかも！でも、一時しのぎ

- ▶ 直近の実績から見ると、月間需要は59トン、2024年6月末の在庫量は156万トン（2か月半）、因みに6月末の民間の販売用流通在庫は115万トンだから、スーパーから米が消えたのです！
- ▶ 新米は9月上旬から本格的に出荷が始まります。よって、米不足は解消に向かうでしょう！だが、根本的に問題が解決した訳ではない。
- ▶ 問題の本質は、需給見通しの誤り（需給ギャップが約20トン有）
- ▶ 減反政策の誤り（食用の米の生産量が令和元年比65万トン減）
- ▶ 造り手の高齢化、激減（あと5年で稲作の農業従事者は60万人を切る！）
- ▶ **不採算（年間所得マイナス）の問題：10ヘクタール未満の農家は皆赤字**

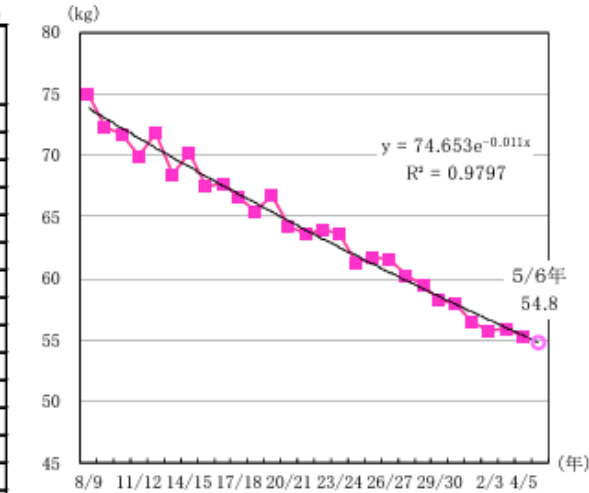
① 平成8/9年から令和4/5年までの1人当たり消費量を算出

年	需要実績 ①	人口 ②	1人当たり消費量 ①/②
	万トン	千人	kg
8/9	943.8	125,859	75.0
9/10	912.9	126,157	72.4
10/11	907.3	126,472	71.7
11/12	885.9	126,667	69.9
12/13	911.5	126,926	71.8
13/14	872.1	127,316	68.5
14/15	894.7	127,486	70.2
15/16	861.6	127,694	67.5
16/17	865.4	127,787	67.7
17/18	851.7	127,768	66.7
18/19	837.5	127,901	65.5
19/20	854.5	128,033	66.7
20/21	823.6	128,084	64.3
21/22	814.1	128,032	63.6
22/23	820.0	128,057	64.0
23/24	813.3	127,834	63.6
24/25	781.1	127,593	61.2
25/26	786.6	127,414	61.7
26/27	782.5	127,237	61.5
27/28	766.2	127,095	60.3
28/29	754.0	127,042	59.4
29/30	739.6	126,919	58.3
30/元	734.6	126,749	58.0
元/2	714.4	126,555	56.4
2/3	704.0	126,146	55.8
3/4	701.5	125,502	55.9
4/5	691.1	124,947	55.3

注:人口は、総務省「人口推計」の各年10月1日現在の値である。

② 令和5/6年の1人当たり消費量(推計値)を算出

年	x	1人当たり消費量(y)
8/9	1	75.0
9/10	2	72.4
10/11	3	71.7
11/12	4	69.9
12/13	5	71.8
13/14	6	68.5
14/15	7	70.2
15/16	8	67.5
16/17	9	67.7
17/18	10	66.7
18/19	11	65.5
19/20	12	66.7
20/21	13	64.3
21/22	14	63.6
22/23	15	64.0
23/24	16	63.6
24/25	17	61.2
25/26	18	61.7
26/27	19	61.5
27/28	20	60.3
28/29	21	59.4
29/30	22	58.3
30/元	23	58.0
元/2	24	56.4
2/3	25	55.8
3/4	26	55.9
4/5	27	55.3
5/6	28	54.8



(速報値)
(推計値)

← 誤り

③ 令和5/6年の1人当たり消費量(推計値)に令和5年の人口(推計値)を乗じて需要見通しを算出

	5/6年
1人当たり消費量(推計値) ①	54.8kg
	5年
人口(推計値) ②	124,377千人
	5/6年
需要見通し ①×②	681.2万トン

【令和5/6年の主食用米等の需給見通し】

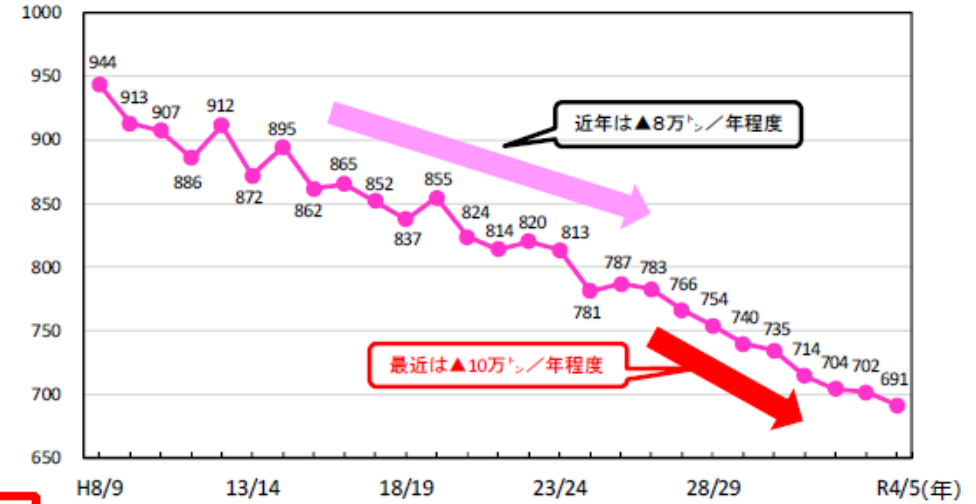
(単位: 万トン)

令和5年6月末民間在庫量	A	197	→ 194 <<3>>
令和5年産主食用米等生産量	B	661	← 見通し: 669万トン
令和5/6年主食用米等供給量計	C=A+B	858	
令和5/6年主食用米等需要量	D	681	
令和6年6月末民間在庫量	E=C-D	177	

令和2年産米のコロナ影響緩和特別対策（特別枠）を除いた場合の見通し

R5年産の生産量の見通しと同水準の生産量

主食用米の需要量の推移 (万トン)

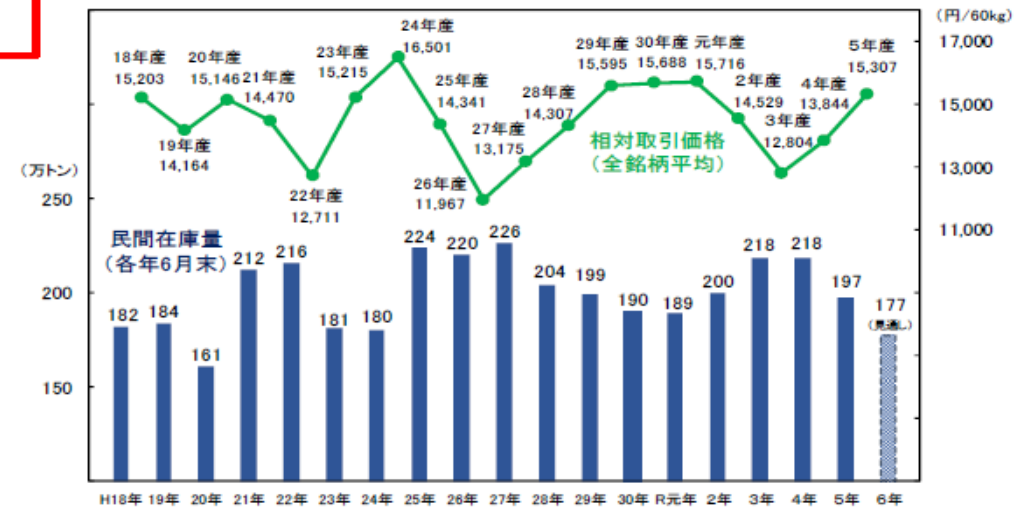


【令和6/7年の主食用米等の需給見通し】

(単位: 万トン)

令和6年6月末民間在庫量	E	177
令和6年産主食用米等生産量	F	669
令和6/7年主食用米等供給量計	G=E+F	846
令和6/7年主食用米等需要量	H	670
令和7年6月末民間在庫量	I=G-H	176

相対取引価格と民間在庫量の推移



注1：欄外の記載は、コロナ影響緩和特別対策（特別枠）に取り組む令和2年産米を除いた場合の見通しであり、<< >>書きは特別枠に係る取組数量。
 注2：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

注：相対取引価格は、当該年度の出回りから翌年10月まで（令和5年産は出回りから6年6月までの速報値）の年平均価格であり、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

では、どうしたら良いのか！

- ▶ 答えは、**自然農**に有り
- ▶ 肥料・農薬に頼らない（経費節減、健康促進）
- ▶ 多様な生態系が復活（温暖化ガスの低減、環境負荷の低減）
- ▶ でも、抑草できるの？生産量が激減するのでは？
- ▶ 日本の農業の99%が農薬、化学肥料に頼る慣行農法です！
- ▶ 大丈夫！それが我々が実践する**「循環型有機微生物農法」**です。
- ▶ **草は生えない！反収8俵（480キロ）、しかも、美味しい！**
- ▶ これが、**「見沼の里」**が次世代に継承する**農業（稲作）**なのです。

「我々が目指すコミュニティ作り」

- ▶ 我々は、自ら安心安全な「食」お米を作ることによって、いざという時であっても、食べ物が確保されている安心感！それを皆で分かち合い、味わえる、そんなコミュニティ造りを目指しています。
- ▶ 貨幣経済が駄目になっても困らない、しかも、自然の生態系を壊さず、自然と共生する自然農を主体に。日々、天の恵みに感謝し、笑顔溢れる日常、皆さんも、この活動を通じて、是非、この幸せ“いやしろ”を味わっていただきたい。
- ▶ 見沼の里では、我々のこうした活動にご賛同いただける皆様方のご参加を心よりお待ちしております。